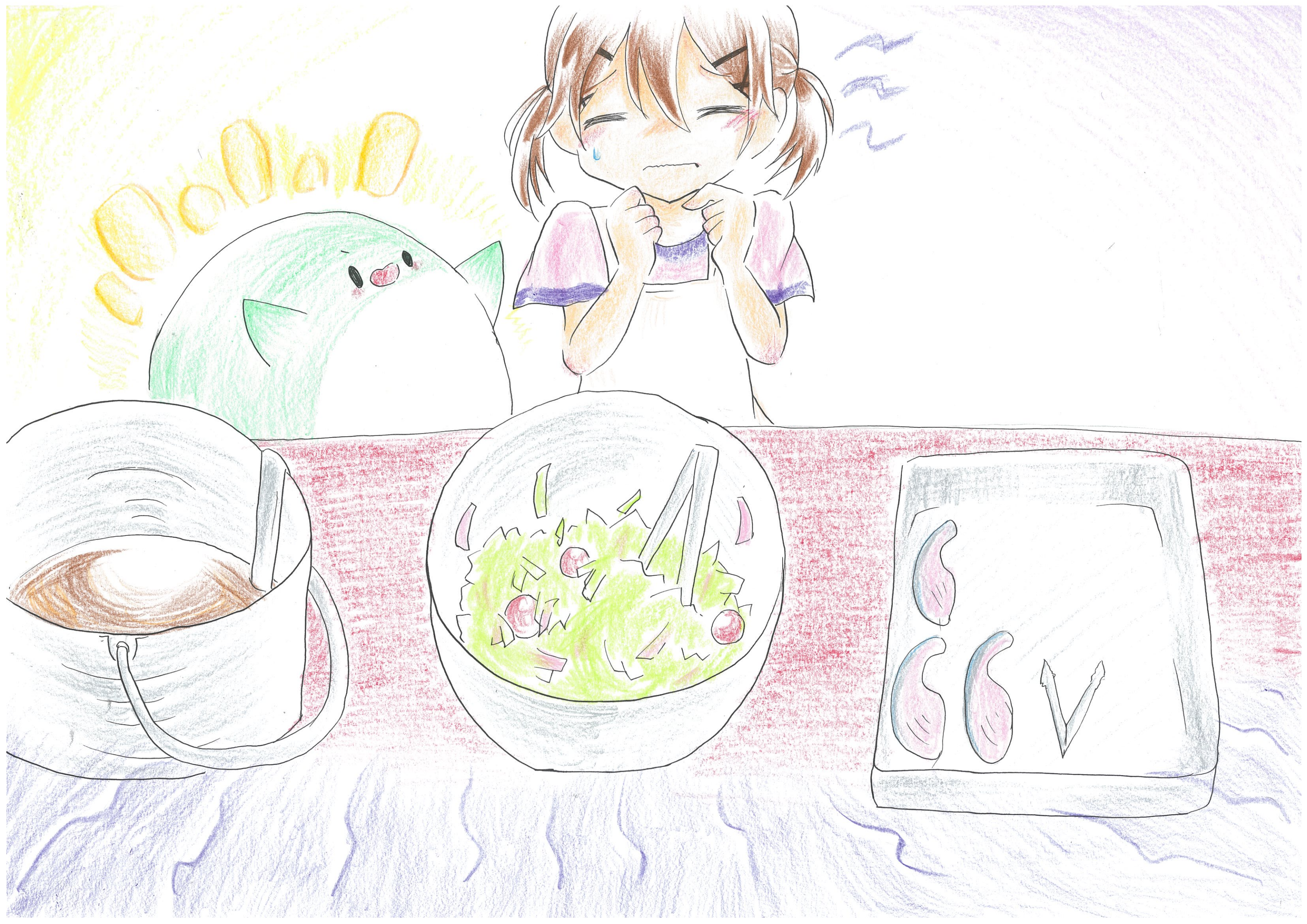


【こどもの部 金賞】

作品名 のこさずたべよう！

作者 花畑桃李（ペンネーム）





2022

①

「あーあ 今日もたくさん給食が残っちゃった。これって捨てられちゃうんだよね。もったいないなあ。」

ある日の給食の時間、ポツリといねちゃんと言いました。

すると

「僕に任せて！」

と、いつのまにか現れたゼロ吉くんが残った給食を食べ始めました。

「ありがとうゼロ吉くん！」

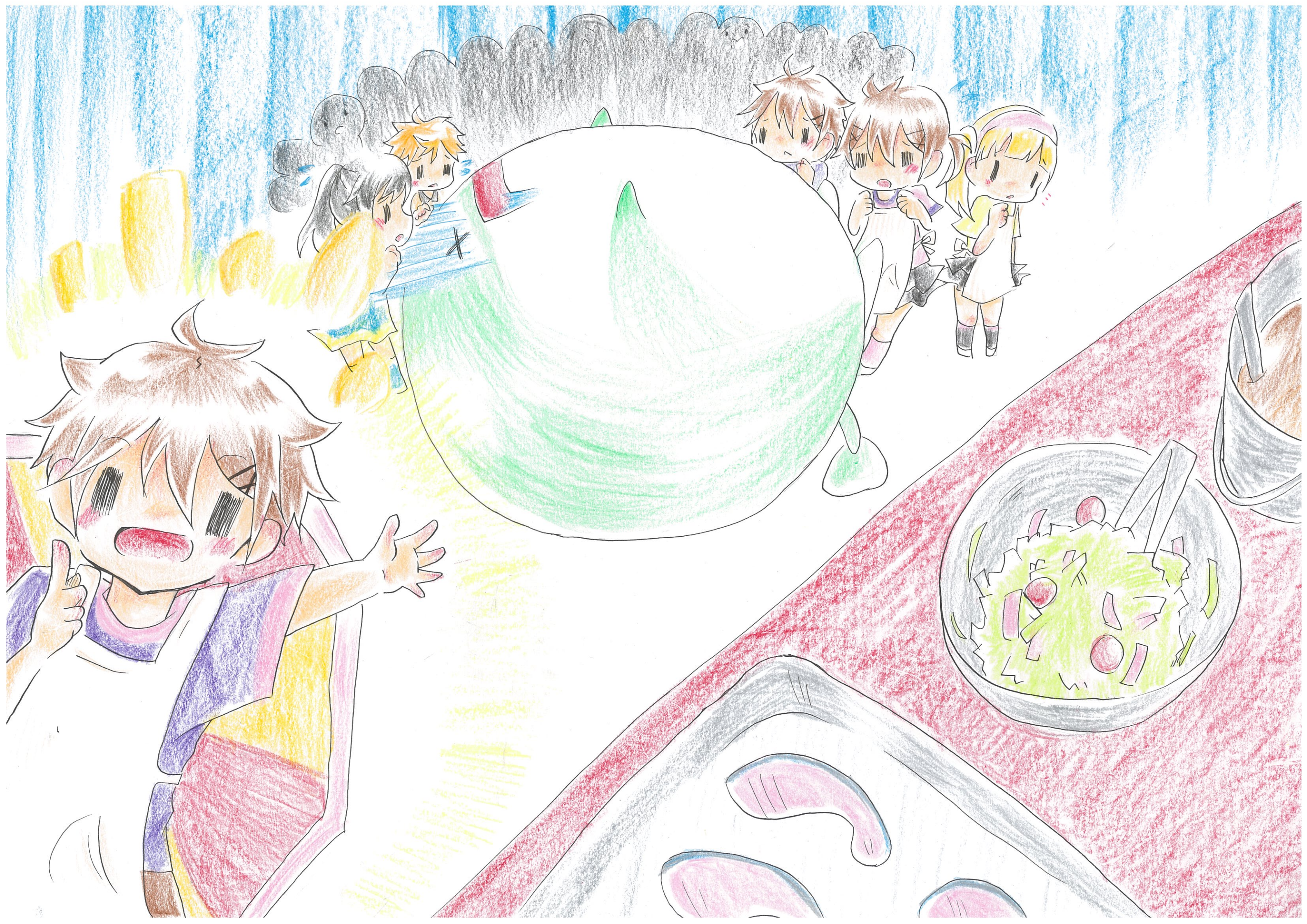


②

実は、ゼロ吉くんは三重のゆたかな森から生まれた妖精なのです！  
三重県のごみを減らすためにがんばってごみを食べてくれているんです。

「給食を残すなんてもったいない。僕が全部食べてごみにしないぜ  
ロ〜！」

そう言ってゼロ吉くんは次々と残った給食を食べ続けます。



③

ところが、すぐにゼロ吉くんのお腹はぼっこりとふくれあがり食べれなくなりました。

それを見たクラスメイトのまことくんが

「みんなでゼロ吉くんを助けよう！僕達みんなが少しずつ食べたら

きっと全部食べれるよ！」

とみんなに提案しました。

みんな

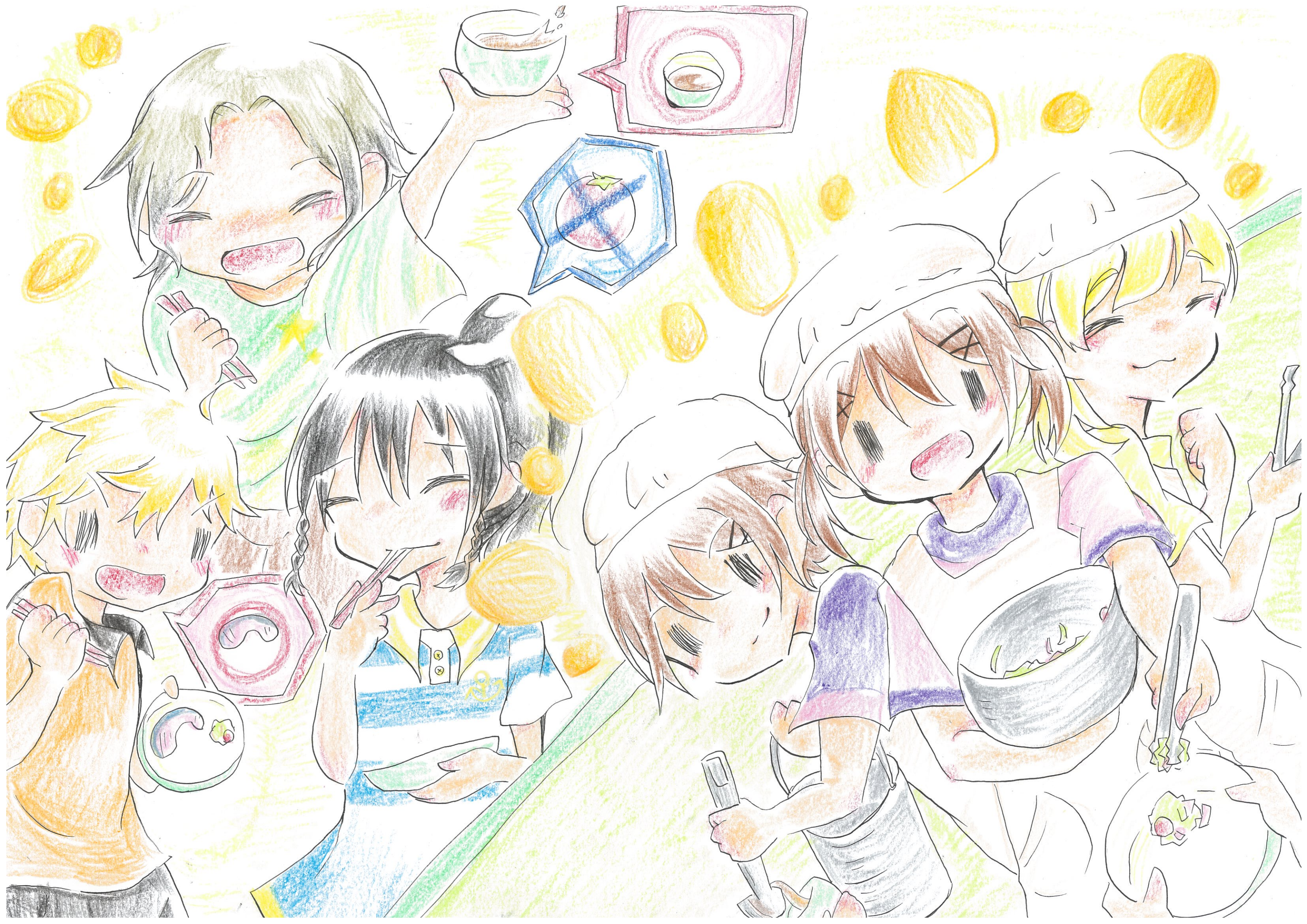
「いいね！」

「賛成！」

「ゼロ吉くんを助けよう！」

とやる気まんまんです。





④

「あたしトマト苦手だけどもうちよつとこれ食べてみる！」

「あ、じゃあ うちも うちも！」

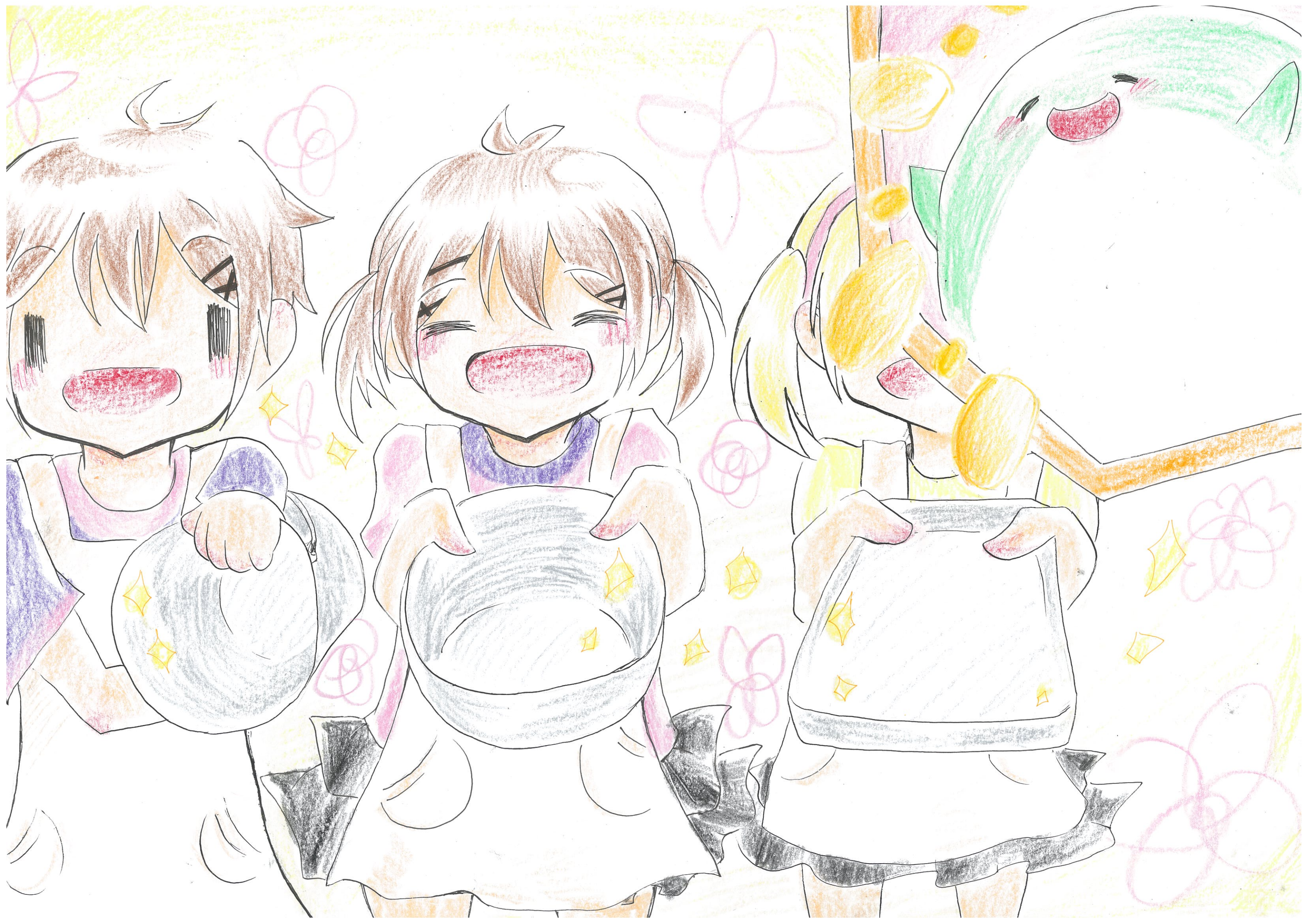
「俺魚が好きだから魚は任せろ！」

「僕はスープ もっと飲む！」

苦手なものにチャレンジする子

好きなものをたくさん食べる子

それぞれが思い思いによそっていきます。



⑤

給食の残りはみるみる減っていき、ついに全て食べ終わりました。

「みてみてゼロ吉くん！全部食べ終わったよ！」

と、ういねちゃんがゼロ吉くんに言いました。

その顔はとても嬉しそうです。

「わーいありがとうございます！」

ゼロ吉くんも嬉しそうに両手を上げました。

「僕たち、これからは毎日全部給食を食べるよ。そしたら、ゼロ吉

くんもスマートなお腹になれるでしょ？」

まことくんの言うスマートなゼロ吉くんを想像してみんな大爆笑。

ゼロ吉くんだけ

「失礼だなあ」

とぷりぷり怒っています。

でも、この子達ならきつと毎日給食を残さず食べてくれると思うの  
でした。